



【学校教育目標】 心晴れ晴れ たくましく 学び伸びゆく 晴田っ子の育成

☆ 実り多い修学旅行

6年生は、6月13日から1泊2日で長崎修学旅行に出かけ、2日間ともに班ごとのフィールドワークを行い、仲間との絆を深めました。1日目は、「平和」をテーマに原爆資料館や如己堂、浦上天主堂、山里小学校へ。2日目は、「歴史や文化」をテーマに歴史博物館や孔子廟、眼鏡橋、出島、グラバー園へ。どの場所でも、しっかりとメモをとり、話に耳を傾け、礼儀正しい姿を見せてくれた6年生でした。出発前に「晴田の代表として長崎に行くのだと言うことをわすれないでほしい」という声かけに答える姿に頼もしさを感じました。実り多い修学旅行となったので、各家庭でお土産話に花が咲いたことでしょう。

さて、今週に入って、登校時間に出会った6年生数名に「長崎で心に残ったこと」を尋ねたところ、その第1位は、被爆された方の講話でした。お話して下さった田中さんは、3歳で被爆された方です。被爆者手帳を示しながら、74年経過した今でも受診しなければならないことや自分のように体験した人が少なくなることを熱心に話してくださいました。その熱意を受け取った晴田っ子の表情は真剣であり目が輝いていたようで、「やはり、『聴くは思いやり 言葉はおくりもの』と合い言葉をもっている学校は素晴らしい」と笑顔で褒めてくださいました。そして、「自分は、みんなにバトンタッチをしてもらいたい」と言われました。バトンタッチの内容として、

○戦争がむごいものであり、人々を傷つけ、苦しめるということを伝えられる人になってほしい。

○花いっぱい、笑顔いっぱい、歌いっぱいの世界を作り、自分にできることに取り組んでほしい。

と言われました。また、
○家族に感謝し、大切にしてほしい。

とも言われました。田中さんの強いメッセージに晴田っ子は聞き入っていたのです。しっかりと聴いたお話を自分の言葉で整理し、さらにまわりの人に発信してくれることでしょう。バトンを受け継いだ重みを感じながら。(修学旅行を終えて、翌週月曜朝には、田中さんからお礼のはがきをいただきました。学ばせていただいたこちらがお礼状を出すべきところ、先にいただいたことに、ただただ感謝した次第です。ありがとうございました。)



お話しされた田中さん



☆ 土曜教室 開校式(魚釣り&絵手紙教室)

80名ほどの晴田っ子が参加しました。開校式では、しっかりと話を聴いて約束事を確かめ、安全に活動を楽しむようにと市丸会長さんからお話がありました。そして、それぞれに活動を始めました。「子どもたちにわくわくするたくさんの体験をさせたい」と始められた青少年健全育成協議会の土曜教室です。

感謝しながら私も魚釣りに初チャレンジさせていただきました。浮きやおもりとにらめっこしながら、釣り始めましたが、予想以上に多くの獲物に出会うことができ、ま

すます楽しい時間となりました。(ビギナーズラックですね。)絵手紙に参加した子どもたちは、できばえにとっても満足げに作品を見せてくれました。まさに、心わくわく、楽しんだようです。みんなでおいしい食事もいただきました。お世話いただいた皆さん、ありがとうございました。

